

## 第17期船橋市男女共同参画推進委員会第7回会議録

1. 開催日 令和6年2月7日(水) 午前10時00分から
2. 開催場所 市役所9階 第1会議室
3. 出席者 8名(欠席5名)
4. 傍聴者 0名
5. 議題  
(1) 第17期提言書について

〈事務局〉

それでは、定刻となりましたので只今より第7回船橋市男女共同参画推進委員会を開始させていただきます。

この会議は、船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき公開となっております。また、会議録につきましても市のホームページで公開いたします。

配布資料の確認をさせていただきます。次第をご覧ください。

配布資料は事前に郵送させていただいた、

資料1 提言書案

がございます。不足等ございませんでしょうか。

よろしければ、以上で、配布資料の確認を終わらせていただきます。

〈事務局〉

では、本日の議題に入りたいと思います。この後の進行につきましては、船橋市男女共同参画推進委員会設置要綱第5条に基づき会長の大石様をお願いいたします。それでは大石会長お願いいたします。

〈大石会長〉

皆さんおはようございます。

次第に沿って、会議を進めていきたいと思います。

議題(1)「第17期提言書について」まず事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

議題(1)「第17期提言書について」ご説明します。資料1 提言書をご覧ください。

この資料は前回の会議で委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、修正を

加えたものとなります。

変更した点を簡単にご説明いたします。

まず、1ページ提言2「男女ともに仕事と家事・育児の両立ができる社会」をご覧ください。

タイトルについて前回までは「仕事と育児の両立」としておりましたが、「仕事と家事・育児」に変えて幅を持たせるというご意見を反映して「男女ともに仕事と家事・育児の両立ができる社会」といたしました。また、同じ記述が文中にもありますので、合わせて変更をしております。

次に同じ提言2の1段落目をご覧ください。

こちらの基礎データについては、前回までは男女の平等感を載せておりましたが、提言7の基礎データと内容が近いことと、夫の家事・育児参加が少ないことがわかる資料の方が良いというご意見がありましたので、夫と妻の家事・育児時間のデータに変更をしております。

次に2ページ提言3「誰もが安心して暮らせるための支援」をご覧ください。

3段落目ですが、パートナーシップに関する記述については、ふなばしパートナーシップ宣誓制度にファミリーシップが含まれていることや、県内5市と都市間連携していることが伝わるような内容に変更いたしました。

次に3ページ提言6「子育てや介護を仕事と両立できる環境づくり」をご覧ください。

2段落目の記述については、施設の増設よりも職員増員の方が現状に合っているというご意見があったことや、放課後ルームが足りていないとのご意見がありました。そのため変更後は「増設」を「拡充」に変えて「保育園、放課後ルーム、介護施設等の拡充に加え、各事業における職員増員や給与処遇改善に努め、安心して預けることができるよう質の向上」といった内容に変更しております。

続けて3段落目ですが、保護者の負担軽減については「更なる諸手続きの簡素化やICT化により」といった記述を加えることで、より具体化しました。

事務局からは以上でございます。

〈大石会長〉

ありがとうございました。前回のご都合つかない方がいて出席が少なかったですけれども、その中で前々回の素案を検討しまして、それに対する皆さんの意見も考慮した上でまとめたというのが今回の提言案になります。

前回の議論にいらっしやらなかった方も、不明点等ございましたら遠慮なくご質問ください。いかがでしょうか。

〈中尾委員〉

提言6ですが、オンラインの問題を入れていただくように強くお願いしていましたが、このICT化というもっと広い概念で捉えていただくとともに分かりやすくなっていると思います。

あともう一つは、職員増員、処遇改善ですね。子どもを預ける時の不安感っていうのが量の問題じゃなくて、やっぱり安心して預けられる質に結びつくための職員増員、処遇改善だというふうに捉えられますので、これもとても良く直していただいたと思います。

〈大石会長〉

ありがとうございました。他いかがでしょうか。

〈大石会長〉

全体見ての感想でも構わないのでちょっと思ったところで、一人ずつ順にご発言いただけたらと思います。

〈山下委員〉

確認させていただいて、前回話し合いの中で出てきた内容が分かりやすく盛り込んでいるかと思っておりますので、前回より素晴らしい内容になっているのかなと思っております。

〈文川委員〉

事前にお送りいただいたので家でも確認しました。

これで大丈夫だと思います。

〈藤井委員〉

この修正内容で私も十分だと思います。特に提言2を「仕事と家事・育児の両立ができる社会」に修正していただいたことは、育児がない家庭も良い意味で含んでいくってということで、より多くの市民の方に共感していただける内容になるのかなと思いました。

それと提言6は、保育園、放課後ルーム、介護施設の拡充ですね。非常に良いキーワードだと思います。とにかく増設さえすれば良いってものではなくて、職員を拡充した上で処遇改善ですね、こういったことが表裏一体で運用されていくことを切に願います。以上です。

〈大石会長〉

今、藤井委員がおっしゃったように、前回の議論において、定員問題は保育園

や幼稚園や放課後ルームごとに違うし、また地区によっても違うので、ただ増やしてくれと言うのではなくて、やはり充実したそのケアが望まれるというところで絞り込んだ言葉です。ありがとうございました。

〈小澤副会長〉

私はどちらかという防災を中心に提言内容を見ていたんですけども、他の分野のことについても具体的な数値をあげて提言を書けているのがとても素晴らしいなと感じています。

また、前回の議論が全部反映されて提言書ができていることについて、とても良いなと思っております。ありがとうございました。

〈中村委員〉

やっぱり、いろいろな立場の目線で、いろいろな意見が出て盛り込まれているということが素晴らしいことだなと思っております。今後もっと、いろいろな立場の方に参画していただくと更に良くなっていくだろうなという気がしております。ありがとうございました。

〈中尾委員〉

私も市民公募で初めて委員となり2年間やらせていただいたんですけど、提言が数年後にどのように市の行政なりに反映されていくか、そういう公表があれば見させていただきたいと思えます。以上です。ありがとうございました。

〈大石会長〉

はい、今の中尾委員のご指摘ですが、じゃあどこまで実現したかという形はなかなか見えないところではあります。

むしろ、こちらが見ていくという視点としては、またメンバーは変わりますけれども次期委員会で計画を作るにあたって、数値化は難しいかもしれないですけども、提言書がどこまで実現できたか、その連続性はぜひ継続してもらいたいと思えます。ご指摘の通りです。

事務局から何か説明はありますか。提言書を出して、その後のフォロー的なことについて。

〈事務局〉

次期の第18期推進委員会になりますけれども、第1回会議で提言書への取り組み状況について議題としますので、取り組み状況を所管課に照会して取りまとめた回答を、会議でご覧いただく予定でおります。

次期も委員となられた方には、そこでご意見をいただきますけれども、会議の記録や資料は後日公表しておりますので、もし委員でなくても会議の内容をご確認いただけますので、ぜひホームページでご確認ください。

〈大石会長〉

ありがとうございました。

〈木暮委員〉

家でも読んできましたが、前回の意見とか盛り込んでこの形に調整されたことはわかったので、直してほしいとかはございません。

〈大石会長〉

ありがとうございました。

では特に他のご意見がなければ本日この提言書案で確定としたいと思います。よろしいでしょうか。

〈大石会長〉

ありがとうございました。以上で議題は終了となります。

皆様お疲れ様でした。